

# 八田原ダムにおける洪水調節による治水効果《芦田川(広島県)》



平成22年7月13日～14日にかけて強い降雨となり、流域平均総雨量は、八田原ダム流域で約180mmを記録した。この洪水において、八田原ダムでは、**適応操作※**を実施し、本来の操作より最大で約103m<sup>3</sup>/s低減させた。また、ダムへの流入量と放流量との差は最大で約282m<sup>3</sup>/sの洪水量を低減させ、目崎地点で約55cmの水位を低下させた。

**適応操作**とは...ダムの洪水調節操作は、各ダム毎に計画規模の出水を対象として実施(本来の操作)することを基本としていますが、下流河川の状況及び今後の洪水の見通し並びにダムの貯留状況等を条件として、下流河川の洪水被害を軽減するため更にダムに貯留する水量を多くする操作を「適応操作」といいます。

